

3

NEC Express5800シリーズ**ソフトウェア編**

Express5800シリーズ用に用意されているソフトウェアについて説明します。

添付のDVDについて（148ページ）

本体に添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに収められているソフトウェアについて紹介します。

EXPRESSBUILDER（150ページ）

セットアップツール「EXPRESSBUILDER」について説明します。

本体用バンドルソフトウェア（153ページ）

本装置にインストールするバンドルソフトウェアについて説明します。

管理PC用バンドルソフトウェア（160ページ）

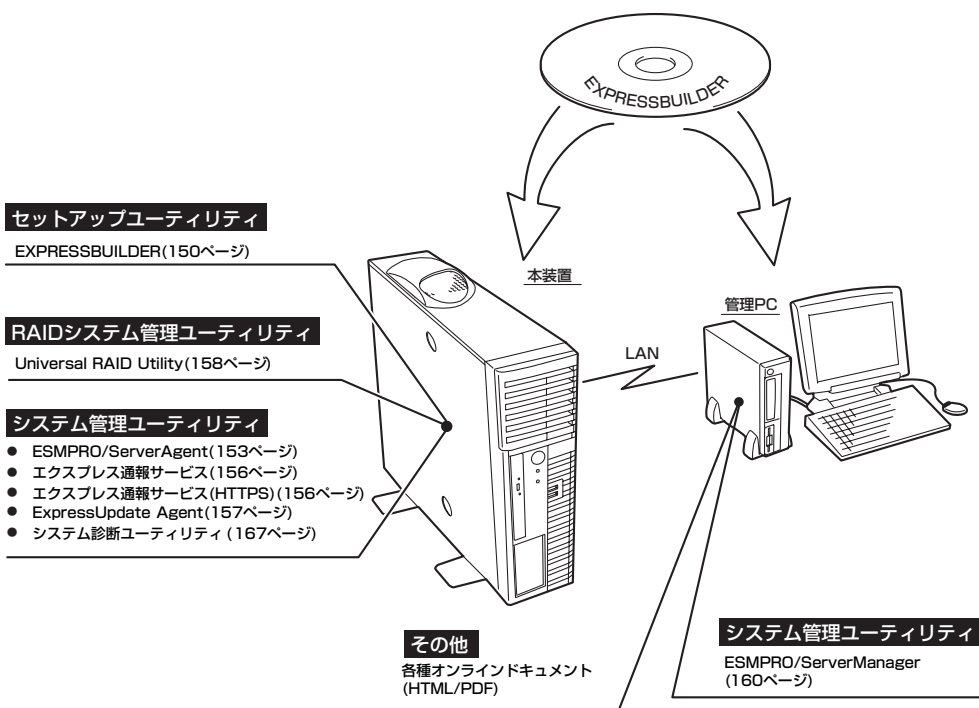
本体を監視・管理するための管理PC にインストールするバンドルソフトウェアについて説明します。

添付のDVDについて

添付のEXPRESSBUILDER® DVDには、本装置を容易にセットアップするためのユーティリティや各種バンドルソフトウェアが収録されています。これらのソフトウェアを活用することにより、本装置の機能をより多く引き出すことができます。



「EXPRESSBUILDER」DVDは、本装置の設定が完了した後も、OSの再インストールやBIOSのアップデートなどで使用する機会があります。なくさないように大切に保存しておいてください。



DVD媒体読み込み機能のない管理PCを使用したいとき

EXPRESSBUILDERはDVDにて提供しているため、DVD媒体読み込み機能のないコンピュータでは各種ソフトウェアのインストールをすることができません。DVD媒体読み込み機能のないクライアントマシンへソフトウェアをインストールしたい場合は、次のような手順にて、いったんCD-R等へコピーしてから使用してください。



本手順は、クライアントへソフトウェアをインストールする目的に限り、CD 1枚分のみコピーすることができます。

1. 本装置など、DVD媒体が読み込める装置へ「EXPRESSBUILDER」DVDをセットする。
2. オートランメニューが起動した場合は終了させる。
3. エクスプローラから、「EXPRESSBUILDER」DVDに格納された以下のファイル・フォルダをハードディスクドライブへコピーする。

¥(ルートフォルダ) : version.xmlをコピー

```

|
+--- ¥009
    |
    +---- ¥ar_menu 以下すべて
    |
    +---- ¥doc以下すべて
    |
    +---- ¥win以下すべて
  
```

4. 手順3にてコピーしたファイル・フォルダをそのままのフォルダ構造にてCD-Rへコピーする。
コピーするときは、ルートフォルダを一致させてください。
5. CD-Rへのコピーが完了したら、手順3にてコピーしたハードディスクドライブ上のファイル・フォルダはすべて削除する。
6. 手順4で作成したCD-Rをクライアントマシンの光ディスクドライブへセットする。
7. エクスプローラから、CD内の以下のファイルを実行する。

```

¥009¥ar_menu¥autorun_menu.exe      (32bitエディションの場合)
                                     autorun_menu_x64.exe  (64bitエディションの場合)
  
```

EXPRESSBUILDER

「EXPRESSBUILDER」は、OSのインストール、装置のメンテナンスなどをするためのソフトウェアです。EXPRESSBUILDERからOSをインストールする際には、インストール対象のハードディスクドライブ（またはRAIDシステムの論理ドライブ1台のみ）だけを接続してセットアップしてください。

各メニューの起動について

「EXPRESSBUILDER」DVDを本装置の光ディスクドライブにセットして起動すると、以下のようなメニューが起動します。

Boot selection	
Os installation***default***.....	①
Tool menu.....	②

① Os installation

本項目を選択すると、EXPRESSBUILDERトップメニューが表示されます。



本ツールは Configuration Toolであり、Windows PE3.0を使用しています。72時間継続して使用すると自動的に再起動されますのでご注意ください。

このメニューから、以下のような機能をキックすることができます。

- a) Windows用OEM-Diskを作成する
Windowsのマニュアルセットアップで必要となるOEM-Diskを作成します（導入編－マニュアルセットアップ参照）。
- b) RAIDのコンフィグレーション情報をセーブ／ロードする
RAIDコントローラ上のRAIDコンフィグレーション情報を保存したり、復元したりすることができます。
- c) EXPRESSBUILDERにドライバをロードする
通常は使用しません。オプション製品を追加した場合に使うことがあります（導入編－応用セットアップ参照）。

② Tool menu

本項目を選択すると、ツールメニューが起動します。

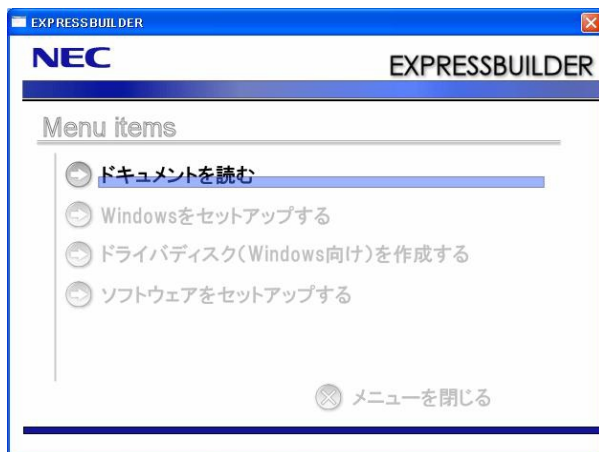


このメニューから、以下のような保守用の機能をキックすることができます。各機能の詳細については、運用・保守編の保守ツールの章を参照してください。

- a) Maintenance Utility
オフライン保守ユーティリティを起動します。
- b) BIOS/FW Updating
システムBIOSをアップデートします。
- c) ROM-DOS Startup FD
ROM-DOS起動FDを作成します。
- d) Test and diagnostics
システム診断を起動します。

オートランで起動するメニュー

Windowsが動作しているコンピュータへ添付のEXPRESSBUILDERをセットすると、オートラン機能によりメニューが起動します。



セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、いったんドライブからEXPRESSBUILDERをイジェクトし、再度セットしてください。また、メニューを再表示させたいときは、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、EXPRESSBUILDERをセットしたドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

メニューからは、Windows上で動作する各種バンドルソフトウェアのインストールやオンラインドキュメントを参照することができます。



オンラインドキュメントの中には、PDF形式の文書で提供されているものもあります。このファイルを参照するには、あらかじめAdobeシステムズ社製のAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Readerがインストールされていないときは、あらかじめAdobeシステム社のインターネットサイトよりAdobe Readerをインストールしておいてください。

メニューの操作は、ウィンドウに表示されているそれぞれの項目をクリックするか、右クリックして現れるショートカットメニューを使用してください。また、一部のメニュー項目は、メニューが動作しているシステム・権限で実行できないとき、グレイアウト表示され選択できません。適切なシステム・権限で実行してください。



DVDを光ディスクドライブから取り出す前に、メニューおよびメニューから起動したオンラインドキュメント、各種ツールは終了させておいてください。

本体用バンドルソフトウェア

本体にバンドルされているソフトウェアの紹介およびインストールの方法について簡単に説明します。詳細はオンラインドキュメントをご覧ください。

ESMPRO/ServerAgent (Windows版)

ESMPRO/ServerAgent (Windows版) は本装置にインストールする本体監視用アプリケーションです。

ここでは個別にインストールする場合に知っておいていただきたい注意事項とインストールの手順を説明します。



運用上の注意事項については、添付の「EXPRESSBUILDER」DVD内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerAgent (Windows版) インストレーションガイド」に記載しています。ご覧ください。

インストール前の準備

ESMPRO/ServerAgent (Windows版) を動作させるためには対象OSのTCP/IPとTCP/IP関連コンポーネントのSNMPの設定が必要です。

- **ネットワークサービスの設定**

プロトコルはTCP/IPを使用してください。TCP/IPの設定についてはスタートメニューから起動する「ヘルプ」を参照してください。

- **SNMPサービスの設定**

コミュニティ名に「public」、トラップ送信先に送信先IPアドレスを使います。ESMPRO/ServerManager側の設定で受信するトラップのコミュニティをデフォルトの「*」から変更した場合は、ESMPRO/ServerManager側で新しく設定したコミュニティ名と同じ名前を入力します。

インストール

ESMPRO/ServerAgent (Windows版) のインストールは添付の「EXPRESSBUILDER」DVD を使用します。本装置のOSが起動した後、Autorunで表示されるメニューから「ソフトウェアをセットアップする」－「ESMPRO」－「ESMPRO/ServerAgent」の順にクリックしてください。以降はダイアログボックス中のメッセージに従ってインストールしてください。



Administrator権限を持つユーザでログオンしてください。

ネットワーク上の光ディスクドライブから実行する場合は、ネットワークドライブの割り当てを行った後、そのドライブから起動してください。エクスプローラのネットワークコンピュータからは起動しないでください。



アップデートインストールについて
ESMPRO/ServerAgentがすでにインストールされている場合は、次のメッセージが表示されます。

ESMPRO/ServerAgentが既にインストールされています。

メッセージに従って処理してください。

インストール後の確認

ESMPRO/ServerAgent (Windows版) をインストールした後に次の手順で正しくインストールされていることを確認してください。

1. 本装置を再起動する。
2. イベントログを開く。
3. イベントログにESMPRO/ServerAgent (Windows版) の監視サービスに関するエラーが登録されていないことを確認する。

エラーが登録されている場合は、正しくインストールされていません。もう一度はじめてからインストールし直してください。

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS)

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS) に登録することにより、システムに発生する障害情報 (予防保守情報含む) を電子メールやモデム経由で保守センターに自動通報することができます。

本サービスを使用することにより、システムの障害を事前に察知することや、障害発生時に迅速に保守を行うことができます。

セットアップに必要な契約

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS) を有効にするには、以下の契約等が必要となりますので、あらかじめ準備してください。

- **本体装置のハードウェアメンテナンスサービスの契約、またはエクスプレス通報サービスの契約**

本体のハードウェア保守契約、またはエクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS) のみの契約がお済みでないと、エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS) はご利用できません。契約内容の詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- **開局にあたって**

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS) を開局する際には、ご契約毎のご契約情報を記録した「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS) 開局キーファイル」を、通報対象の装置に適用する必要があります。「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS) 開局キーファイル」は、弊社での開局準備ができ次第、エクスプレス受付センターから提供いたします。ファイルの提供とその適用方法には、以下の2通りの方法があります。

- (1) ネットワーク経由でダウンロード

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS) を NEC サポート パック登録ホームページ、もしくはお客様登録のサイトからお申し込みの場合、お申し込みの手続きを実施いただき、弊社での開局準備完了後、「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS) 開局キーファイル」をダウンロードできます。ダウンロード後、インストレーションガイドに従い、「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS) 開局キーファイル」を設定頂くようお願いします。

- (2) 通報サービスの通報開局FD

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS) を製品同梱の申込用紙もしくは契約書で申し込みの場合、お申し込み内容を確認し、弊社での開局準備完了後、エクスプレス受付センターより、「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス (HTTPS) 開局キーファイル」を格納した「通報開局FD」を送付いたします。お申し込み手続き後しばらくお待ちください。

「通報開局FD」到着後、インストレーションガイドに従い、設定してください。

ExpressUpdate Agent

装置のファームウェアやソフトウェアなどのバージョン管理や更新を行うことができます。ESMPRO/ServerManagerによって、自動的にダウンロードした装置の更新パッケージを、システムを停止せずに簡単に適用できます。ExpressUpdate Agentの機能やインストール方法についての詳細はEXPRESSBUILDER内の「インストレーションマニュアル」を参照してください。



ExpressUpdateに未対応のファームウェアまたはソフトウェアの更新パッケージが提供されることがあります。これらの更新パッケージの適用に関しては以下のページに掲載しています。
NECコーポレートサイト (<http://www.nec.co.jp/>)
[サポート・ダウンロード] - [PCサーバ]

Universal RAID Utility

Universal RAID Utilityは、以下のRAID コントローラの管理、監視を行うアプリケーションです。

- LSI Embedded MegaRAID™

Universal RAID Utilityのインストールおよび操作方法、機能については、添付のEXPRESSBUILDERに収録している「Universal RAID Utility Ver2.1 ユーザーズガイド」を参照してください。

なお、「Universal RAID Utility Ver2.1 ユーザーズガイド」に記載されているUniversal RAID Utilityの動作環境(オペレーティングシステムなど)が、本ユーザーズガイドの動作環境と異なる場合があります。この場合は、本ユーザーズガイドに記載の動作環境を参照してください。

カスタムインストールモデルでのセットアップ

本体装置のモデルにより、あらかじめ Universal RAID Utility がインストールされている場合があります。

Universal RAID Utilityのセットアッププログラムを使用したセットアップ

[オートランメニュー]でUniversal RAID Utilityのセットアッププログラムを起動できます。
[オートランメニュー]で[ソフトウェアをセットアップする]、[Universal RAID Utility]をクリックします。

なお、Windowsの場合、

- Microsoft .NET Framework 2.0以上
- Microsoft .NET Framework 2.0以上の日本語Language Pack
- Microsoft Visual C++ 2005 SP1 ライブラリ

のランタイムコンポーネントが必要です。

この3つのソフトウェアは、[オートランメニュー]でインストールできます。

[Microsoft .NET Framework 2.0]と[Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack]をインストールするには、[オートランメニュー]で[Windowsをセットアップする]、[.NET Framework Ver2.0再配布可能パッケージ(x86)のインストール] (x64の場合、[.NET Framework Ver2.0 再配布可能パッケージ(x64)のインストール]) をクリックします。

[Microsoft Visual C++ 2005 SP1 ライブラリのランタイムコンポーネント]をインストールするには、[オートランメニュー]で[Windowsをセットアップする]、[Microsoft Visual C++ 2005 SP1 再配布可能パッケージ(x86)のインストール] (CPUアーキテクチャに関わらず、(x86)を使用します)をクリックします。

ESMPRO/ServerManagerによる管理

『ESMPRO/ServerManager Ver. 5.2以降』を使用すると、ESMPRO/ServerManagerでUniversal RAID Utilityが管理するRAIDシステムの参照や監視、オペレーション実行などを行います。

なお、『ESMPRO/ServerManager Ver. 5.2以降』でRAIDシステムを管理するコンピュータのオペレーティングシステムは、Windowsのみサポートします。ESMPRO/ServerManagerの動作環境や操作方法などについては、ESMPRO/ServerManagerの操作説明を参照してください。

イージーコンフィグレーション機能

Universal RAID Utilityの「イージーコンフィグレーション」機能は、LSI Embedded MegaRAID™では使用できません。

管理PC用バンドルソフトウェア

装置をネットワーク上から管理するための「管理PC」を構築するために必要なバンドルソフトウェアについて説明します。

ESMPRO/ServerManager

管理用PC 上でESMPRO/ServerManager を使用すると、リモートで本装置を管理・監視、モジュール管理、RAIDシステムの管理・監視を行えます。この機能を使用するためには、各種本体用バンドルソフトウェアを本装置にインストールする必要があります。
管理用PC へのESMPRO/ServerManagerのインストール方法や設定の詳細についてはオンラインドキュメントまたはESMPROのオンラインヘルプをご覧ください。



ESMPRO/ServerManagerの使用にあたっての注意事項や補足説明がオンラインドキュメントで説明されています。添付の「EXPRESSBUILDER」DVD内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerManagerインストールレーションガイド」を参照してください。